ICS6号速報

NEW 多収米 生育調査

アイ シー エス ロクゴウ

NO.5

令和4年 6月23日

日本で唯一の大規模栽培！新・多収米をFUKUIから発信!!

福井基幹支店 JA福井県 多収米部会

●間もなく幼穂形成期！間断通水の準備を！！

1．ＪＡ生育調査状況（6月22日現在）

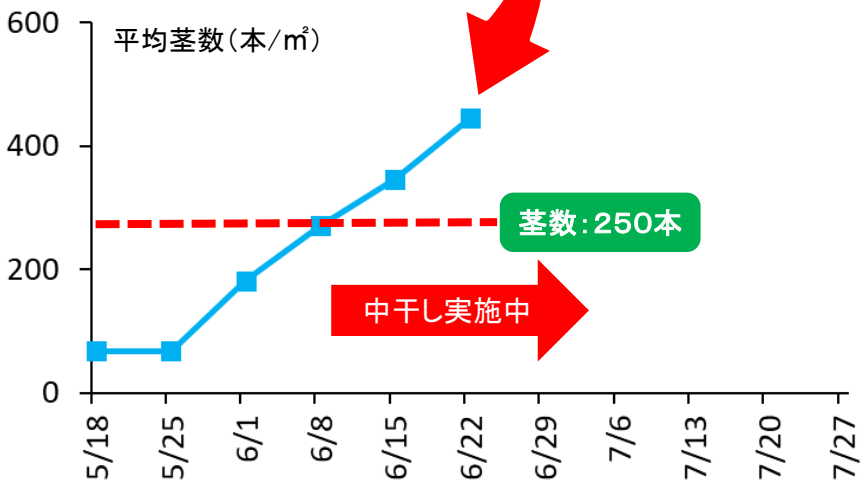
栽培区分	平均作業日	草丈 cm	茎数 本/㎡	葉令	葉色
移植	5月2日	45.9	444.7	10.2	4.3

梅雨入りはしたものの、雨は少ない状況で気温、湿度が高い日が続いています。

ICS6号の生育は草丈、茎数とも順調に伸びていますが、一部では、葉が柔らかく過繁茂になっている圃場も見受けられます。

今後は、曇天や湿度が高い日が続くことが予想されますので、いもち病や紋枯病に注意し病斑を確認したら早期に防除を実施しましょう。

2．茎数の推移と今後の管理



収量向上の為の病害対策

いもち病対策

梅雨に入り天候不良の日が続きます。稲体を確認し、いもち病発生が見られたら至急、薬剤防除を実施しましょう。

＊感染好適条件

・気温20～25℃

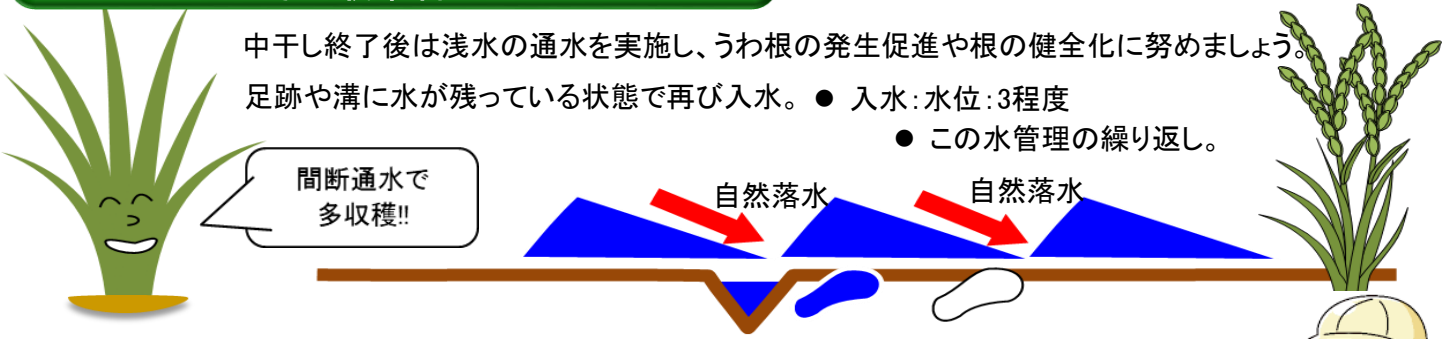
・弱い雨や露などで葉が長時間濡れる

・当日を含めた前5日の平均気温が20～25℃

○ブラシン粉剤（3～4kg／10a）治療剤

収穫7日前まで　　使用回数2回以内

3．ＩＣＳ６号の栽培管理のポイント！



中干し終了後は浅水の通水を実施し、うわ根の発生促進や根の健全化に努めましょう。

足跡や溝に水が残っている状態で再び入水。● 入水：水位：3程度

● この水管理の繰り返し。

■いもち病の病斑がみられたら防除をおこないましょう。

■充分な茎数が確保されている圃場では、田干しと溝切りをおこないましょう。

■雑草がみられる圃場では、早期に雑草防除をおこないましょう。

適期管理で収量アップを目指しましょう。今週のICS6号速報は『北部支店』が担当しました。